

「第67回 東京高円寺阿波おどり」の開催結果について

NP0 法人東京高円寺阿波おどり振興協会との共催により実施した「第67回 東京高円寺阿波おどり」の開催結果について、以下のとおり報告します。

1 開催概要（本大会）

- 開催日 令和8年8月29日（土）・30日（日） 両日とも17時～20時まで
- 来場者 約95万1千人（2日間合計）
- 参加連 延べ166連（2日間合計）
- 会場 中央演舞場、ひがし演舞場、純情演舞場、パル演舞場、桃園演舞場、みなみ演舞場、ルック第1演舞場、ルック第2演舞場
- 新設会場 公園前演舞場

2 関連事業

（1）ふれおどり

概要：「高円寺阿波おどり応援！商店街セール」の一環として商店街内で踊りを披露
日時：8月28日（金）18時～20時 ※31連が参加
会場：高円寺純情商店街・高円寺パル商店街・高円寺ルック商店街（来場約5万2千人）

（2）2026夏のセシオン舞台阿波おどり

概要：照明、音響、踊りが一体となった阿波おどりの舞台公演
日時：8月29日（土）・30日（日） 両日とも午前・午後1回ずつ計4回実施
会場：セシオン杉並（来場者合計1,955名） ※延べ12連が出演

（3）2026夏の座・高円寺舞台阿波おどり

概要：高円寺阿波おどり連協会の合同連も登場する舞台公演
日時：8月29日（土）・30日（日） 両日とも午前・午後1回ずつ計4回実施
会場：座・高円寺（来場者合計956名） ※延べ12連が出演

3 開催結果のまとめ

- 29日（土）の雨天の影響により、前日のふれおどりを含む本大会3日間の来場者数は昨年度比約6万7千人減となったものの、総来場者数は100万人を超えた。また、公園前演舞場の新設に伴い、関係機関が連携して安全対策及び観客誘導を徹底した結果、大きな事故や混乱もなく、盛況のうちに終了した。
- 救護本部及び救護所での応急処置者数は計13名（飲酒による体調不良等／昨年度比35名減）、救急搬送者数は計5名（昨年度比12名減）となった。今年度も熱中症対策の強化を行ったが、気温が低かったこともあり、熱中症による救護事案は発生しなかった。
- 大会終了後のごみ対策については、立て看板の設置や警備員配置の増強を実施した結果、月曜日朝に回収されたごみの量は減少し、一定の効果が見られた。一方で、集積場以外への不法投棄が増加する課題も生じたことから、来年度に向けて対策を検討していく。

■ 本大会



■ 公園前演舞場（新設）



■ 2026夏のセッション舞台阿波おどり



■ 2026夏の座・高円寺舞台阿波おどり



■ ごみの状況

[純情演舞場（警備員増設）]



[高南通り：不法投棄]

